

表紙のことは

古谷 美佐子「木道」

今回の「木道」を描いたのは、OT（作業療法）で油絵を描きたいと思ったからです。

私は双極性障害になって11年になりますが、発症したとき、自分は治らないのではないかと絶望的になって毎日死にたいという気持ちで生活していました。それはまるで漆黒の闇（トンネルの中）にいました。たまたまママ友が二人双極性障害で、お互いに励まし合いながら、そしてすがる思いで病院を受診し服薬して社会資源を利用し、今に至っています。私が今こうして生活できるのも沢山の方々に支えられてきたおかげだと思います。

この絵は、まっ暗なトンネルの中にいた私にやっと光が見えてきたという思いを表現したものです。たった一人でも、この絵を見て、一瞬でも笑顔になれたらという思いも含めて表現しました。まだ、これから色々な戦いが待っていると思うけど、あきらめないでやっていこうと思います。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



宮野 浩光「きなこ、おはよう」

絵を描いていて、もともとは動物の絵を描いていたけど、身近なネコ科の動物が得意で描いてみました。

それが、きなこでした。きなこは黄色で、きなこもちっぱいから、きなこつけました。絵の先生から空間をうめるようにと、花とかおんぶとか星とかでうめて、きれいにしました。

かわいらしくできたのでそれをご覧ください。最終目的はしょうがいしゃの関門の「アール・ブリュット」に出展したいです。